

地理関連学会連合総会議事録

日時：2009年3月27日（金） 12:35-13:40

場所：帝京大学 11号館 1174教室

出席者(順不同・敬称略)：

【運営加入学会】

地理情報システム学会 村山祐司、
（社）東京地学協会 田邊 裕、東北地理学会 日野正輝・阿部 隆、
日本生気象学会 松本 太、日本地形学連合 島津 弘、
日本地理教育学会 犬井正・井田仁康(書記)、地理科学学会 岡橋秀典、
（社）日本地理学会 松本 淳(議長)・手塚 章、
地理関連学会連合 野上道男
(欠席学会：日本沙漠学会、(社)日本土壤肥料学会)

【賛同学会】

経済地理学会 箸本健二、人文地理学会 小島泰雄、地理教育研究会 谷川尚哉、
日本国際地図学会 鈴木厚志、日本雪氷学会 岩田修二、日本地域学会 藪田雅弘、
日本農業気象学会 山川修治、水文・水資源学会 近藤昭彦、
歴史地理学会 林 和生
(欠席学会：日本環境共生学会、日本水文科学学会、日本地下水学会、日本地質学会、
日本都市計画学会)
日本学術会議IGU分科会：碓井照子、氷見山幸夫、石川義孝
人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会 秋山元秀

1. 仮称「地理学連携機構」発足にかかわる地理関連学会連合の今後

野上地理関連学会連合議長より、「地理学連携機構」発足についての経緯について説明があり、前回の地理関連学会連合総会で承認された「地理学連携機構」発足にあたって、地理関連学会連合と人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会を解散するという議案を取り消すことが承認された。代わって、上記の2つの組織は残したままで「地理学連携機構」を設立する方針が承認された。そのうえで「地理学連携機構要綱(案)」が審議され、「学術会議への協力」という文言を第2条に入れる修正案が承認された。

2. 地球惑星科学連合の法人化と地理学会の動向

野上議長および松本委員(総会議長)より、地理学関連学会が地球惑星科学連合に加入する背景について説明があった後に、地球惑星科学連合の法人化後の各地理学会の動向について情報を提供するよう依頼があり、それに応じて情報交換がなされた。また、地球惑星科学連合の運営について質疑応答がなされた。

3. 地域多様性について

野上議長より地理関連学会連合および「地理学連携機構」の存立理念として、「地域多様性」を基盤（基本理念）とすることが別紙資料により提案され、意見交換が行われた。今後この理念に基づいたシンポジウムを企画することが承認された。

4. 次期役員について

野上議長より、2010年3月で地理関連学会連合議長の任期が満了になることから、その後は議長を継続する意志がないことが表明され、次期議長について考慮したいもらいたい旨依頼があった。

5. その他

地理関連学会連合の事務については、引き続き日本地理学会に依頼することが承認された。

以上